

「尾佐竹猛展」開催によせて
—「駿台学」の体現者・尾佐竹猛—

尾佐竹猛（おさたけたけき）は、明治 13（1880）年に、旧加賀藩の下級武士の家に生まれ、同 29（1896）年に、本学の前身である明治法律学校に入学、同 32（1899）年に優秀な成績で卒業しました。翌 33（1900）年には、判事検事登用試験に合格、福井・東京の地方裁判所、東京・名古屋の控訴院の判事を歴任し、大正 13（1924）年には、現在の最高裁判所に相当する大審院の判事に就任しました。

一方で、憲政史、明治維新史、文化史の研究者として活躍し、膨大な著書や論稿を発表しています。特に文化史の分野では吉野作造とともに明治文化研究会の中心人物としても知られています。昭和 3（1928）年には、東京帝国大学から法学博士の学位を授与されています。

学内にあっては、大学商議委員や校友会評議員として、大学行政に多大な貢献をしています。関東大震災後の復興事業に際しては、数多くの蔵書を図書館に寄贈されました。昭和 4（1929）年には法学部講師（後に教授）となり、とくに文学部の前身である専門部文科の設立に尽力し、現在の文学部長に相当する初代文科長も務めました。

本展覧会では、図書館で所蔵する著書と大学史資料センター所蔵の関係資料を展示していますが、驚くほどの広範囲にわたる活動の様子や、著作の膨大さと研究の重厚さをご理解いただけるものと思います。

ところで、大学史資料センターは数年来、本学の長い歴史の間で構築された、本学の個性にかかわる独自の学問を「駿台学」と表し、それを検証すべく研究活動を続けています。これに当って、われわれが最も駿台学にふさわしい研究をした人物として着目したのが尾佐竹でした。その成果は、『尾佐竹猛研究Ⅰ－Ⅱ（大学史紀要 第9・10号）』（明治大学史資料センター、2005、2006年）、『尾佐竹猛著作集 全24巻』（ゆまに書房、2005～2006年）、『尾佐竹猛研究』（日本経済評論社、2007年）として刊行いたしました。

このたび、図書館の企画により、大学史資料センターの協力のもとで、これらの研究成果を活かしながら、より多くの方に尾佐竹について知っていただく機会として、展覧会を開催する運びとなりましたことは、研究に携わってきた者のひとりとして、たいへん喜ばしい限りです。

本展覧会を通じて、「駿台学」の体現者である尾佐竹の業績について、また本学が培ってきた「駿台学」の伝統を再確認していただければ幸いです。

2007年10月

大学史資料センター所長
文学部教授、理事
渡辺 隆喜

尾佐竹猛略年譜

年	年齢	年 譜	関連事項
1880(明治 13)		石川県羽咋郡に尾佐竹保の長男として出生	
1881(明治 14)	1		明治法律学校開校
1886(明治 19)	6	大念寺新小学校(1889年に高浜小学校と改称)入学	
1889(明治 22)	9		大日本帝国憲法発布
1894(明治 27)	14	高浜小学校卒業	日清戦争(-1895)
1896(明治 29)	16	明治法律学校入学	
1899(明治 32)	19	明治法律学校を学年第1位の成績で卒業	
1900(明治 33)	20	判事検事登用試験合格 司法官試補(東京地方裁判所詰)	
1902(明治 35)	22	福井地方裁判所判事 明治法律学校校友会福井支部幹事	
1903(明治 36)	23		明治大学と改称
1904(明治 37)	24		日露戦争(-1905)
1905(明治 38)	25		明治大学、財団法人認可
1907(明治 40)	27	東京区裁判所判事	
1908(明治 41)	28	新島区裁判所判事兼任	
1910(明治 43)	30	東京地方裁判所判事	
1913(大正 2)	33	東京控訴院判事	
1914(大正 3)	34		第一次世界大戦(-1918)
1916(大正 5)	36	名古屋控訴院判事	
1917(大正 6)	37	明治大学法学士を授与される	
1918(大正 7)	38	東京控訴院判事	
1920(大正 9)	40		大学令による明治大学認可
1921(大正 11)	42	明治大学石川県人会副会長	
1923(大正 12)	43		関東大震災
1924(大正 13)	44	大審院判事 明治大学校友評議員、明治大学商議委員 吉野作造らと明治文化研究会設立	
1928(昭和 3)	48	東京帝国大学より法学博士の学位を授与される	
1929(昭和 4)	49	明治大学法学部講師、明治大学刑事博物館設立委員	
1931(昭和 6)	51	明治大学法学部教授、明治大学文科専門部教授 明治大学雄弁部部长	
1932(昭和 7)	52	明治大学文科専門部長、明治大学制度調査委員 吉野作造の死去により明治文化研究会第2代会長	明治大学文科専門部認可

1937(昭和 12)	57		日中戦争(-1945)
1938(昭和 13)	58	東京帝国大学法学部講師	
1941(昭和 16)	61	明治大学石川県人会会長	太平洋戦争(-1945)
1942(昭和 17)	62	大審院検事、大審院退職	
1943(昭和 18)	63	加越能郷友会副会長	
1944(昭和 19)	64	福井県足羽上町に疎開	
1945(昭和 20)	65	空襲により東京四谷三光町の自宅と蔵書を焼失 帰京し荻窪に住む(翌年鷺ノ宮に転居)	
1946(昭和 21)	66	急性肺炎により死去	

(参考資料)

田熊涓津子 『尾佐竹猛』(日外アソシエーツ、1983 年)

飯澤文夫 「書誌調査からみた尾佐竹猛—明治大学での事蹟を中心に—」

(明治大学史資料センター編 『尾佐竹猛研究』、日本経済評論社、2007 年)

長沼秀明作成 「尾佐竹猛略年譜(稿)」

尾佐竹猛著作 展示リスト

	書名		出版社	出版年	所蔵先
1	賭博と掬摸の研究		総葉社書店	1925 (大 14.10)	090.4/O1-6/B/H
2	維新前後に於ける立憲思想 — 帝国議会史前記		文化生活 研究会	1925 (大 14.12)	090.4/O1-3//H 311/19//S
3	法曹珍話閻魔帳 / 無用学博士著		春陽堂	1926 (大 15.6)	090.4/O1-24//H 327.04/68//H
4	明治文化史としての日本陪審史		邦光堂	1926 (大 15.7)	090.4/O1-9//H 090.4/O1-9/B/H
5	明治警察裁判史 附、刑事弁護制		邦光堂	1926 (大 15.10)	317.702/6//H
6	国際法より観たる幕末外交物語 附、生麦事件の真相その外		文化生活 研究会	1926 (大 15.12)	090.4/O1-2/B/H 210.59/15//H 210/756//W 210/1011//S
7	判事と検事と警察—蒙愚理問答 中 止、解散、検束等		総葉社書店	1926 (大 15.12)	090.4/O1-39//H
8	大岡政談 / 尾佐竹猛校訂 (帝国文 庫第 16 篇)		博文館	1929(昭 4.4)	918.5/17//H
9	明治秘史—疑獄難獄		一元社	1929(昭 4.6)	090.4/O1-36/B/H 210.61/4//H
10	夷狄の国へ—幕末遣外使節物語		万里閣書房	1929(昭 4.7)	090.4/O1-8//H 090.4/O1-8/B/H 210/283//W
11	維新前後に於ける立憲思想 前、後 編	増補版	邦光堂	1929(昭 4.10)	311.21/6//H 311/475//DZ
12	掬摸・賭博 (近代犯罪科学全集第 9 篇)		武侠社	1929(昭 4.11)	326.3/16//HZ
13	国際法より観たる幕末外交物語		邦光堂	1930(昭 5.3)	090.4/O1-2//H
14	近世文化史上に於ける大隈重信侯 / 尾佐竹猛 [ほか著]、文明協会 編 (文明協会ライブラリ)		文明協会	1930(昭 5.6)	090.4/O1-12//H
15	日本憲政史 (現代政治学全集第 6 巻)		日本評論社	1930(昭 5.6)	090.4/O1-13//H 312.1/24//H 312.1/24/B/H

16	刑罪珍書集 2 / 原胤昭、尾佐竹猛 解題 (近代犯罪科学全集第 14 篇)		武侠社	1930(昭 5.8)	326.3/16//HZ
17	明治大学創立滿五十年記念論文集 法学編 / 尾佐竹猛 [ほか] 編 (法 律論叢 10 卷 10・11 号)		明学会	1931(昭 6.11)	090.4/227//H
18	近世日本の国際観念の発達		共立社	1932(昭 7.12)	090.4/O1-42//H
19	近世日本の国際観念の発達 (赤松 智城著「宗教史方法論」と合刻) (現 代史学大系 5 卷)		共立社	1932(昭 7.12)	090.4/O1-21//H 090.4/O1-21/B/H 208/7//W 208/18//HZ
20	万国広法と明治維新 (使命会講演 集第 6 輯)		使命会本部	1933(昭 8.1)	090.4/O1-14//H
21	賭博と掏摸の研究		総葉社書店	1933(昭 8.4)	090.4/O1-6//H 090.4/O1-6/B/H 090.4/O1-6/C/H 369.12/40//H
22	政党の発達 (岩波講座日本歴史第 8 卷分冊)		岩波書店	1933(昭 8.9)	090.4/O1-15//H
23	明治文化叢説		学芸社	1934(昭 9.7)	210.6/118//H
24	維新前後に於ける立憲思想の研究		中文館	1934(昭 9.9)	090.4/O1-5//H 311/20//W
25	掏摸・賭博		犯罪科学書刊 行会	1934(昭 9.10)	090.4/O1-10//H
26	秘書類纂 法制関係資料 上、下巻/ 伊藤博文編、尾佐竹猛、平塚篤校 訂		秘書類纂刊行 会	1934(昭 9.9-10)	322.16/1//H 322.16/1/C/H 322.1/67//DZ
27	刑罪珍書解題		犯罪科学書刊 行会	1934(昭 9.11)	326/3//J 326.4/6//H
28	玄人の玄人・素人の素人らしからざる 法律論		大誠堂	1935(昭 10.6)	090.4/O1-11//H
29	維新史叢説		学而書院	1935(昭 10.10)	090.4/O1-17//H 090.4/O1-17/B/H 090.4/O1-17/C/H 210.61/109//H 369/229//W

30	幕末維新の人物		学而書院	1935(昭 10.11)	090.4/O1-48//H 210.61/153//H
31	類聚伝記大日本史 第11巻 政治家 篇 / 尾佐竹猛監修解説		雄山閣	1936(昭 11.6)	281.08/17//H
32	特異犯篇 / 尾佐竹猛、大森洪太 (防犯科学全集第8巻)		中央公論社	1937(昭 12.1)	090.4/O1-43//H
33	日本憲政史論集 (日本政治・経済 研究叢書 4)		育生社	1937(昭 12.9)	090.4/O1-47//H 312.1/62//H
34	法窓秘聞		育生社	1937(昭 12.9)	090.4/O1-7//H 327.04/84//H 327/780//W
35	明治政治史点描 (日本政治・経済研 究叢書第8巻)		育生社	1938(昭 13.2)	090.4/O1-44//H 312.1/63//H 312/203//W
36	日本憲法制定史要		育生社	1938(昭 13.2)	090.4/O1-38//H 090.4/O1-38/B/H 323/421//DZ
37	現代日本史研究 / 杉山平助、尾佐 竹猛 ほか著		三笠書房	1938(昭 13.10)	210.6/60//H
38	日本憲政史大綱 上、下巻		日本評論社	1938-39(昭 13.11-14.1)	090.4/O1-46//H 312.1/20//H
39	新聞雑誌の創始者柳河春三 (高山 叢書 1)		高山書院	1940(昭 15.10)	090.4/O1-32//H 289/949//W
40	石井研堂先生著作目録 附、略年譜 -喜壽祝賀会記念 / 尾佐竹猛編輯	1941.5 の私家 複製版	尾佐竹猛	1941(昭 16.5)	090.4/O1-49//H
41	大島宇吉翁傳 / 野田兼一編纂、尾 佐竹猛監修		新愛知新聞社	1942(昭 17.10)	H930/503//HZ
42	明治維新 上、中、下ノ1、下ノ2巻 (近代日本歴史講座)		白揚社	1942-49(昭 17.11-24.8)	090.4/O1-20//H 210.61/19//H 210/2//W 210.6/22//DZ 他
43	日本憲政史の研究		一元社	1943(昭 18.5)	090.4/O1-45//H 312.1/25//H 312/192/B/DZ

44	明治大正政治史講話		一元社	1943(昭 18.8)	090.4/O1-18//H 090.4/O1-18/B/H 312.1/135//H
45	明治の行幸		東興社	1944(昭 19.3)	288.48/3//H
46	明治文化の新研究 / 明治文化研究会編		亜細亜書房	1944(昭 19.3)	090.4/O1-19//H 210.6/54//H 210/1052//W
47	幕末外交秘史考		邦光堂書店	1944(昭 19.7)	090.4/O1-1//H
48	維新前後に於ける立憲思想 (尾佐竹猛全集第 1 巻)		実業之日本社	1948(昭 23.10)	090.4/O1-4//H
49	賭博と掏摸の研究 (尾佐竹猛全集第 13 巻)		実業之日本社	1948(昭 23.10)	個人蔵
50	幕末遣外使節物語 (尾佐竹猛全集第 7 巻)		実業之日本社	1948(昭 23.11)	090.4/O1-4//H 210.59/11//H
51	明治秘史一疑獄難獄 (尾佐竹猛全集第 11 巻)		実業之日本社	1948(昭 23.12)	090.4/O1-4//H
52	法窓秘聞 (尾佐竹猛全集第 12 巻)		実業之日本社	1949(昭 24.3)	327.04/81//H
53	湖南事件一露国皇太子大津遭難 (岩波新書青版 68)		岩波書店	1951(昭 26.6)	210.647/3//HZ
54	賭博と掏摸の研究		新泉社	1969(昭 44.11)	369/230//W
55	志賀瑣羅誌	復刻・翻刻版	高浜町文化財調査委員会	1970(昭 45.10) 初版:1908(明治 41.春)	明治大学史資料センター
56	犯姦集録 / 尾佐竹猛編 (史録叢書 3)		三崎書房	1972(昭 47.10)	090.4/O1-26//H 322.15/129//H
57	明治維新 上、下巻	復刻版	宗高書房	1978(昭 53.4)	090.4/O1-28//H
58	日本憲政史大綱 上、下巻	復刻版	宗高書房	1978(昭 53.9)	090.4/O1-40//H
59	類聚伝記大日本史 第 11 巻 政治家篇 / 尾佐竹猛編集解説	復刻版	雄山閣	1981(昭 56.6)	281/94//W
60	江戸時代犯罪・刑罰事例集 法学編 / 原胤昭、尾佐竹猛 [編集]・解題		柏書房	1982(昭 57.3)	322.15/179//H
61	柳河春三一新聞雑誌の創始者 (近代日本学芸資料叢書第 9 輯)	復刻版	湖北社	1985(昭 60.4)	090.4/O1-27/B/H 289.1/1942//H

62	幕末遣外使節物語－夷狄の国へ (講談社学術文庫 907)		講談社	1989(平 1.12)	090.4/O1-33//H BGB/907//H BGB/907//S
63	大津事件－ロシア皇太子大津遭難 (岩波文庫青 182-1)		岩波書店	1991(平 3.4)	090.4/O1-25//H BIB/B182-1//H BIB/B182-1//S
64	スリのテクノロジー / デヴィッド・W・ マーラー、尾佐竹猛著		青弓社	1996(平 8.3)	090.4/O1-34//H 369/888//W
65	江戸の刑罰風俗誌(尾佐竹猛編「牢 獄秘録」を収録)	増補版	展望社	1998(平 10.5)	090.4/O1-37//H 322.15/238//H 322/450//W
66	明治秘史－疑獄難獄	復刻版	批評社	1998(平 10.12)	090.4/O1-36//H 210.61/4/B/H 210/4382//W
67	法曹珍話閻魔帳	復刻版	批評社	1999(平 11.1)	090.4/O1-24/B/H 327.04/68/B/H
68	賭博と掏摸の研究	新版	新泉社	1999.3(平 11.3)	090.4/O1-35//H 368.6/315//H
69	下等百科辞典		批評社	1999(平 11.5)	090.4/O1-29//H 813.9/2//H 813.9/1//W
70	明治四年賤称廃止布告の研究		批評社	1999(平 11.9)	090.4/O1-30//H 361.8/33//H 361.8/5//W
71	法窓秘聞	復刻版	批評社	1999(平 11.12)	090.4/O1-7/B/H 327.04/82//H
72	尾佐竹猛著作集 全 24 巻 明治大学史資料センター監修	復刻版	ゆまに書房	2005-2006(平 17.9-18.9)	090.4/O1-41//H 081.6/118//H 081.6/10//W

書誌、研究書、「明治文化全集」「明治文化研究」等

	書名	出版社	出版年	所蔵先
1	尾佐竹猛略年譜・著作目録 / 山野博史、田熊渭津子 [編] (「関西大学法学論集第 27 巻第 2 号」抜刷)	関西大学人文科学研究 所	1977(昭 52.6)	090.4/O1-23//H
2	尾佐竹猛 / 田熊渭津子編 (人物書誌大系 4)	日外アソシエーツ	1983(昭 58.7)	090.4/O1-22//H 280/24//J R280/27//W
3	尾佐竹猛研究 I、II (大学史紀要 9-10 号)	明治大学史資料セ ンター	2005-2006 (平 17.3-18.3)	090.2/42//H P377/51//H
4	尾佐竹猛研究 / 明治大学史資料センター編	日本経済評論社	2007(平 19.10)	
5	明治文化全集 / 吉野作造編 全 24 巻	日本評論社	1927-1930 (昭 2.10-5.2)	081/1//DZ 081/1/F/DZ 081/1//W
6	新旧時代 1 年 1 冊-3 年 2 冊	明治文化研究会	1925(大 14.2)- 1927(昭 2.2)	P210/13//H
7	明治文化研究-新旧時代 3 年 3 冊-5 巻 6 号	明治文化研究会	1927(昭 2.3)- 1929(昭 4.6)	P210/13//H
8	明治文化 5 巻 7 号-17 巻 1 号	明治文化研究会	1929(昭 4.7)- 1944(昭 19.1)	P210/13//H
9	季刊明治文化研究 1-6 輯	書物展望社、学而 書院	1934(昭 9.2)- 1935(昭 10.11)	P210/12//H
10	伊藤案以前の憲法草案 (「明治文化研究 第 1 輯」抜刷)	書物展望社	1934(昭 9.2)	090.4/O1-16//H
11	明治文化研究会例会記録 (私製マイクロフィルム版)		昭和 21 年 7 月 11 日(再建第 1 回)-昭 和 34 年 7 月	M/1394//H

著作以外

自筆原稿、書簡など

		所蔵先
自筆草稿	銭屋五兵衛の財産（ペン字 20 字詰 10 行 21 枚完） 『博浪沙』(5 巻 2 号、1940 刊)、『加越能』(82 号、1940 刊) に掲載された論文の草稿	090.4/01-31//H
自筆原稿	明治維新 下ノ3(未刊)（マイクロフィルムの紙焼き）	090.4/01-20//H
自筆原稿	新聞雑誌の創始者柳河春三(1)	090.4/01-27//H
自筆書簡	宮武外骨宛 明治 45 年	明治大学史資料センター
自筆書簡	沼田頼輔宛 大正 6 年 6 月 28 日	明治大学図書館
自筆書簡	沼田頼輔宛 毛筆二十二行 封付 大正 15 年 4 月 11 日	090.2/69//H
自筆書簡	沼田頼輔宛 毛筆二十九行 封付 法博大審院判事 明 治文化研究科	090.2/69//H
自筆書簡	沼田頼輔宛 毛筆二十七行 封付 日本紋章学受賞の 祝詞	090.2/69//H
自筆書簡	沼田頼輔宛 ペン書 魔除札の図入	090.2/69//H
転居通知	昭和 21 年 3 月	個人蔵

図書・雑誌収録著作 *（所蔵先） 特記なきものは、個人からの提供による

論題	『収録書名』・誌名 巻(号)	出版社	出版年月
加越能の弁、副会長就任の挨拶[複製]	加越能郷友会々報 46	加越能 郷友会	1935.3
裏日本ということ[複製]	加越能郷友会々報 51	加越能 郷友会	1936.3
前科一犯の僕	話 6月号	文芸春秋	1936.6
裏日本の名称について (筆名：不破志要)	加越能 73 (『尾佐竹猛著作集第 24 巻』収録 090.4/01-41//H)	加越能 郷友会	1939
活火山たる蘇峰先生 一世の中が先生 の活動を求めて止まずー	蘇峰会誌 2・3	蘇峰会	1943.9
わが国官僚機構の再検討	重産協月報 3(6)	重要産業 協議会	1944.7
文化人は要求する	評論 創刊号	河出書房	1946.2
妖怪変化を大いに語る	『妖怪マンガ恐怖読本』	文芸春秋	1990.7
廃娯運動の参考書	『洒落本体系全 20 冊』内容見本	六合館	

明大関係資料、関連記事

資料・論題・記事名	収録誌名 巻	出版社	出版年	所蔵先
明治法律学校学生名簿 自明治 28 年 8 月 1 日至明治 29 年 7 月 31 日				明治大学図書館
昭和 9 年度 史学科卒業試験問題表				明治大学史資料センター
昭和 13 年 明治大学地歴科案内				明治大学史資料センター
卒業記事	明治法学 2	明治法学会	1899.10	090.8/23//H P320/229//H M/354//H
校友会福井支部幹事	明治法学 51	明治法学会	1903.1	090.8/23//H P320/229//H M/354//H
震災後の臨時校友総会	明治大学 学報 86	明治大学 学報発行所	1924.1	090.8/1//H 090.8/8//W
商議委員	明治大学 学報 94	明治大学 学報発行所	1924.9	090.8/1//H 090.8/8//W
明治教育文化展覧会[複製]	駿台新報 186	明治大学 新聞学会	1928.4.21	N/16//H
尾佐竹副会長学位授与祝賀兼明大石川県人総会	明治大学 学報 147	明治大学 学報発行所	1929.2	090.8/1//H 090.8/8//W

写真	所蔵
大審院判事時代 尾佐竹猛肖像（正面）	明治大学史資料センター
昭和 4 年 尾佐竹演説の様子	明治大学史資料センター
昭和 15 年 日本文化史展覧会案内（秩父宮・同妃）	山田仁彦氏
尾佐竹猛肖像（礼服・サーベル）	堀久迺子氏
尾佐竹猛肖像（三光町・和服）	堀久迺子氏
尾佐竹と父・弟	堀久迺子氏
明治法律学校南甲賀町校舎	明治大学史資料センター
昭和 6 年 明治大学文科復活趣意書	明治大学史資料センター
昭和 7 年 3 月 12 日 「駿台新報」 307	明治大学史資料センター